

第 6 5 回岡山県美容技術コンクール 競 技 要 綱

【メイク競技の部】(モデル使用)

☆ 日 時 令和 7 年 6 月 1 6 日 (月)

選手受付 8 : 1 0 ~ 9 : 0 0

※時間厳守(遅れると受付ができない場合があります)

☆ 会 場 岡山市中区門田本町 4 丁目 1 番 1 6 号

岡 山 国 際 ホ テ ル

☆ 全競技に関する注意事項

- ①出場者は受付を済ませ必ず 9 時までに選手控室にて待機すること。
- ②出場取消しについては、特別な事情がない限り、1 週間前までに 組合事務所 (Tel 086-222-3221) に連絡のこと。
- ③エントリー料は如何なる理由があろうとも返金できません。
- ④参加賞 (T シャツ) 及び、お弁当はありません。
- ⑤各種目、エントリー者数が 3 名未満の場合、競技種目の除外等の規定を設けています。
- ⑥各種目、エントリー者数が 6 名未満の場合、優勝賞金の授与はありません。トロフィー及び賞状のみの授与となります。
- ⑦業務の都合上、電話でのお問い合わせ、質問等はお受けできません。ご質問等は、FAX 及び、下記アドレスの E メールでお問い合わせ下さい。

<お問い合わせ> FAX : 086-223-7455

Email : info@ba-okayama.or.jp

☆ 全競技に関する禁止事項

- ①選手の服装は、競技に相応しいものとし、上衣は白いもの、下は黒または濃紺のスカートまたはスラックスとし、帽子は禁止する。靴はヒールの低いものとする。
- ②選手は、ガムを噛んだり、口の中に物を入れて出場してはならない。
- ③選手・モデルは控室以外で飲食してはならない。
- ④競技中、選手同士またはモデル・観客と会話等をしてはならない。
- ⑤競技中、用具の貸し借りをしてはならない。
- ⑥競技中、他の選手に迷惑をかけるような言動、及び監視委員の指示に従わない等の行為は、退場を命じることがある。
- ⑦控室は、受付終了後から閉会式終了後まで、監視員以外出入りは禁止です。
- ⑧館内禁煙です。喫煙所以外での喫煙はしないでください。
- ⑨ゴミの持ち帰り、後片付けなど社会人としてのマナーをお守りください。

(1) 出場資格 無資格者・有資格者

(2) 競技時間	フィッティング ヘアの仕上げ	}	控室にて作業	・・・	4 0 分
	メイク トータル仕上げ		}	ステージ上にて作業	・・・

(3) 競技内容 ～クリエイティブ・メイク～

この課題は、モデルの個性を生かしテーマに沿ったメイク（化粧）を主流にしたトータルバランスの競技である。ヘア・メイク・ファッションがバランス良く表現されていなければならない。

衣裳は和装を除いて自由とする。

採点に関しては、あくまでメイクアップを中心としたトータル審査とする。

競技は、「フィッティング、ヘアの仕上げ」までの作業と「メイク及びトータル仕上げ」の作業に分けて行う。

「フィッティング、ヘアの仕上げ」までの作業は監視委員立会いの下に控室で行い、「メイク及びトータル仕上げ」の作業はステージ上で行う。

<テーマ>

自由とする。

(4) 競技に関する制限及び禁止事項

- ①モデルは競技中はもとより、控室にあっても選手の手助けをしてはならない。
- ②モデルは、岡山県美容組合から提供されるケープを着用しなければならない。
- ③モデルは競技開始前に、顔の化粧がしてあってはならない。
- ④アイテープ、つけまつ毛を使用する場合は、選手が競技時間内（30分）につけること。
- ⑤助手の使用は一切認めない。（ただし、競技用具の搬出入のために助手を控室に立ち入らせることはさしつかえない。）
- ⑥競技終了後、選手はモデルに一切触れてはならない。
- ⑦モデルのケープは、「メイク及びトータル仕上げ」の競技時間内（30分）で取らなければならない。
- ⑧イヤリング、ネックレス等は、事前につけてあってもかまわない。（ただし、競技ステージでつける場合は、競技時間内（30分）につけなければならない。）
- ⑨“ネオン”カラーを含んで、カラーの選定は自由である。
- ⑩ヘアの仕上がりはストレートであってはいない。
- ⑪ヘアピース、ウィッグの大きさ、数量に制限はないが、顔を覆う作品は不可とする。

(5) 準備事項

- ①オリジナルセットは事前に作り、ヘアのドライイングが完了されている状態で会場入りしなければならない。（ヘアピース、ウィッグを含む）

(6) その他の注意事項

- ①競技に必要なすべての用具の使用を認める。ただし、シール及び型抜きに類する物は認めない。
- ②控室及び競技ステージには、ドライヤー、電源等の設備はない。
- ③用具は、隣の選手の邪魔とならないよう、自分のスペース内できちんと整理されていなければならない。
- ④控室に机はあるが、競技ステージに机はない。（各自で鏡付化粧ケース等を持参すること）
- ⑤審査中、モデルは指示された方向を向き、座ってポーズをとり、審査時間の2/3が過ぎた時点で、立ってポーズをとらなければならない。（審査時間は選手数により変動する。）

(7) 競技用具の準備（選手が準備するもの）

- ①衣裳
- ②ヘア用具一式
- ③化粧用具一式
- ④必要な小物類
- ⑤敷物（控室で衣裳着用時に床に敷く物）